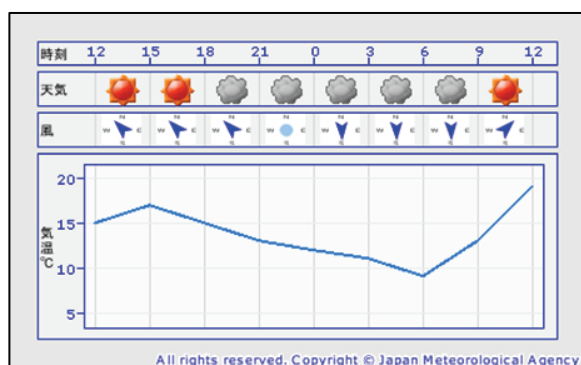


4 天気予報

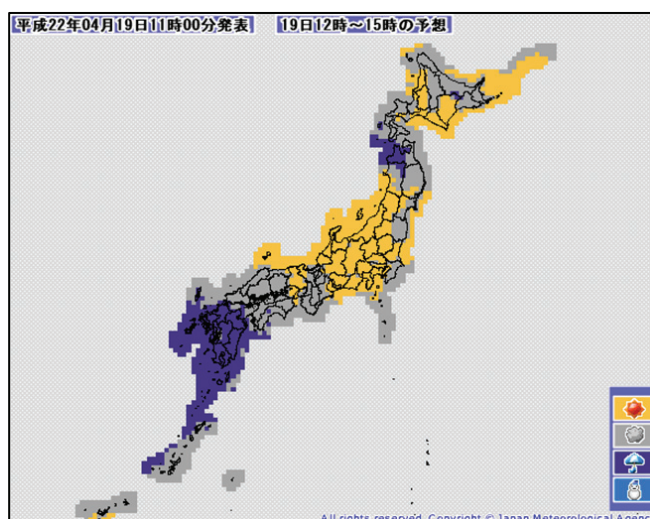
4. 1 明後日までの天気予報

天気予報では、予報発表時刻から明後日までの天気、気温、風、降水確率、海上の波の高さなどを1日3回（5時、11時、17時）各県の区域ごとに発表しています。

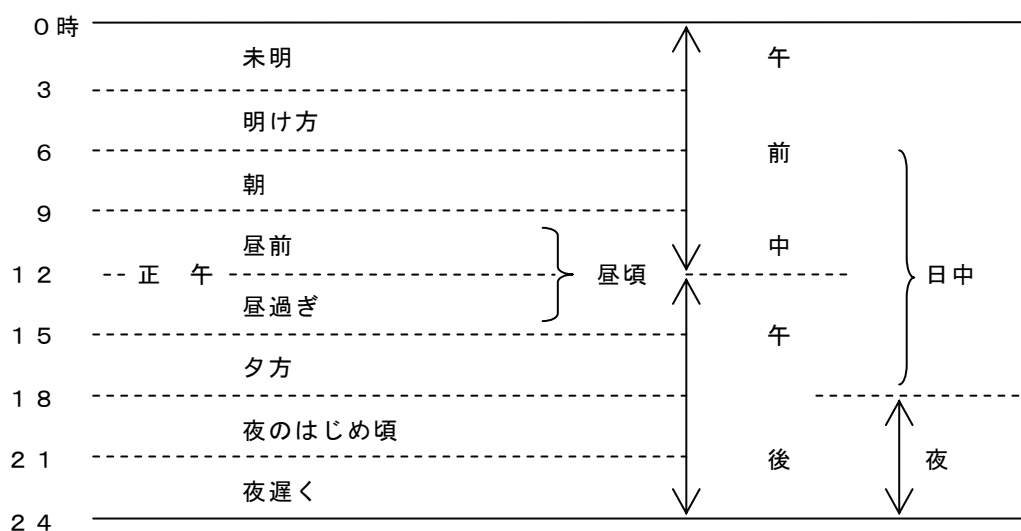
そのほか、3時間ごとの天気を予想した「地域時系列予報」や「地方天気分布予報」なども発表しています。



地域時系列予報の発表例



地方天気分布予報の発表例



天気予報で使用する1日の時間細分

4. 2 週間天気予報

週間天気予報には、「府県週間天気予報」と「地方週間天気予報」があります。

府県週間天気予報

府県週間天気予報は、向こう一週間の各県における一日ごとの天気、最高・最低気温、降水確率、予報の信頼度等を、毎日 11 時と 17 時に発表します。

予報の信頼度とは、3 日目以降の降水の有無の予報について「予報が適中しやすい」と「予報が変わりにくい」ことを表す情報で、A、B、C の 3 段階で表します。信頼度 A のとき、明日に対する天気予報と同程度の予報精度になります。また、信頼度 A のときは、雨が降るという予報が、翌日発表の週間天気予報で雨が降らないという予報に変わることはほとんどありません。一方、信頼度 C のときは、雨が降るかどうかの予報適中率が低いか、もしくは、翌日に予報が変わる可能性がやや高いことを意味します。週間天気予報を利用する際、信頼度情報を確認することで、雨が降るかどうかの予報が外れて影響を受けるリスクに対応しやすくなります。

信頼度の各階級の内容

信頼度	内容
A	確度が高い予報 降水の有無の予報について、適中率が明日予報並みに高く、 翌日の予報で日変わりする可能性がほとんどない
B	確度がやや高い予報 降水の有無の予報について、適中率が 4 日先の予報と同程度で、 翌日の予報で日変わりする可能性が低い
C	確度がやや低い予報 降水の有無の予報について、降水の有無の適中率が信頼度 B よりも低い、 もしくは翌日の予報で日変わりする可能性が信頼度 B よりも高い

地方週間天気予報

地方週間天気予報は、向こう一週間に予想される天気の概況をまとめたもので、毎日 11 時ごろと 17 時ごろに発表します。

九州北部地方（山口県、福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県）については福岡管区気象台が、九州南部・奄美地方（宮崎県、鹿児島県）については鹿児島地方気象台が発表します。

コ ラ ム

天気予報での用語（時間経過）

「曇り一時雨」や「晴れ時々曇り」などの、天気予報で使用している時間経過を表す用語については、次のとおりとなっています。

用語	解 説
一時	現象が連続的に起こり、その現象の発現期間が予報期間の1/4未満のとき （「連続的」とは、現象の切れ間がおよそ1時間未満のものをいいます）
時々	現象が断続的に起こり、その現象の発現期間の合計が予報期間の1/2未満のとき （「断続的」とは、現象の切れ間がおよそ1時間以上のものをいいます）
のち	予報期間内の前と後で現象が異なるとき、その変化を示す